

7月クイズ 全30問

Q1. 7月7日の行事といえば?

- ① ひな祭り
- ②七夕
- ③ こどもの日

ヒント: 笹に願い事を飾る夜の行事だよ。

答え: ②七夕 7月7日は七夕。星に願いを込める行事です。

Q2. 七夕の願い事を書いて笹に飾る細長い紙は?

- ① 折り紙
- ② 千代紙
- ③ 短冊

ヒント: 色とりどりの細長い紙だよ。

答え: ③短冊 五色の短冊に願い事を書いて飾ります。

Q3. 7月の和風月名(昔の呼び名)は?

- ① 文月
- ② 睦月
- ③ 師走

ヒント: 「文(ふみ)」を書く月と書きます。

答え: ①文月 文月(ふづき)。短冊に文を書くからとも。

Q4. 土用の丑の日に食べる習慣があるのは?

- ① かしわ餅
- ② うなぎ
- ③ おせち

ヒント: スタミナのつく細長い魚。

答え: ②うなぎ 夏バテ防止にうなぎを食べる習慣があります。

Q5. 軒先につるして涼しげな音を鳴らす夏の道具は?

- ① 風鈴
- ② 太鼓
- ③ お琴

ヒント: チリンと鳴ります。

答え: ①風鈴 風鈴。音で涼しさを感じる日本の知恵です。

Q6. 七夕の夜、天の川で会えるとされる二人は?

- ① 浦島太郎と乙姫
- ② 織姫と彦星
- ③ かぐや姫と帝

ヒント: 機織りと牛飼いの二人だよ。

答え: ②織姫と彦星 年に一度、7月7日に会えるとされます。

Q7. 夏に冷やして食べる、緑の皮に赤い果肉の代表は？

- ① メロン
- ② みかん
- ③ スイカ

ヒント:塩をかけて食べることもあります。

答え:③ スイカ スイカ。夏の風物詩ですね。

Q8. 夏の暑さで体がだるくなることを何という？

- ① 夏祭り
- ② 夏バテ
- ③ 夏休み

ヒント:「バテる」という言葉が入ります。

答え:② 夏バテ 夏バテ。暑さで食欲や元気が落ちる状態です。

Q9. 「海の日」は何月の祝日？

- ① 6月
- ② 7月
- ③ 8月

ヒント:梅雨明けのころの祝日です。

答え:② 7月 7月の第3月曜日が海の日です。

Q10. 夏の夜、おしりを光らせて飛ぶ虫は？

- ① セミ
- ② トンボ
- ③ ホタル

ヒント:水のきれいな川辺で見られます。

答え:③ ホタル ホタル。初夏の夜を淡い光で彩ります。

Q11. 短冊に願い事を書く七夕が庶民に広まったのはいつ？

- ① 平安時代
- ② 江戸時代
- ③ 明治時代

ヒント:寺子屋で字の上達を願ったころ。

答え:② 江戸時代 江戸時代。寺子屋で習字の上達を願ったのが広まりのきっかけ。

Q12. 土用の丑の日にうなぎを食べる習慣を広めたとされる人物は？

- ① 杉田玄白
- ② 伊能忠敬
- ③ 平賀源内

ヒント:江戸時代の発明家・学者です。

答え:③ 平賀源内 平賀源内。「本日丑の日」の張り紙を勧めたという説が有名。

Q13. 織姫星・彦星と「夏の大三角」を作るもう一つの星は？

- ① 北極星
- ② デネブ
- ③ シリウス

ヒント:はくちょう座の一等星です。

答え:② デネブ ベガ・アルタイル・デネブの3つで夏の大三角。

Q14. 夏の「土用」は、暦の上で何の前の期間？

- ① 立秋
- ② 立春
- ③ 春分

ヒント:暦の上で秋が始まる日の前です。

答え:① 立秋 夏の土用は立秋前の約18日間を指します。

Q15. 「梅雨」を「つゆ」以外に音読みすると？

- ① ばいう
- ② さみだれ
- ③ りんう

ヒント:「梅」を音読みしてみましょう。

答え:① ばいう ばいう。梅の実が熟すころの雨が語源とも。

Q16. 七夕飾りの「網飾り(あみかざり)」が願うものは？

- ① 長寿
- ② 豊漁・豊作
- ③ 学業

ヒント:漁の網をかたどった飾りです。

答え:② 豊漁・豊作 網飾りは大漁や豊作への願いを込めた飾りです。

Q17. 食中毒予防の三原則「つけない・増やさない」、あと一つは？

- ① やっつける
- ② 冷ます
- ③ 干す

ヒント:しっかり加熱することです。

答え:① やっつける 「やっつける(加熱)」。夏場の食中毒予防の基本。

Q18. 熱中症予防で、水分と一緒に補いたいものは？

- ① 糖分だけ
- ② 塩分(ナトリウム)
- ③ カフェイン

ヒント:汗と一緒に失われる成分です。

答え:② 塩分(ナトリウム) 塩分。汗で失う水分と塩分の両方を補うのが大切。

Q19. 7月の京都「祇園祭」は、どこのお祭り?

- ① 伏見稲荷大社
- ② 八坂神社
- ③ 平安神宮

ヒント: 祇園にある神社です。

答え: ② 八坂神社 八坂神社の祭礼。日本三大祭の一つです。

Q20. お中元を贈る時期は、一般に何月ごろまで(関東)?

- ① 7月15日ごろ
- ② 8月末
- ③ 12月

ヒント: お盆の前までが目安です。

答え: ① 7月15日ごろ 関東では7月初旬～15日ごろまでが目安です。

Q21. 七夕の星伝説のもとになった国は?

- ① 日本
- ② 中国
- ③ インド

ヒント: 「乞巧奠(きっこうでん)」という行事が起源。

答え: ② 中国 中国伝来。織女と牽牛の伝説が日本の棚機と結びつきました。

Q22. 土用の丑の日に良いとされた「う」のつく食べ物、うなぎ以外は?

- ① 梅干し・うどん
- ② りんご
- ③ 卵

ヒント: 「う」で始まる夏の定番です。

答え: ① 梅干し・うどん 梅干し・うどん・瓜など「う」のつくものが良いとされました。

Q23. ホタルが光る、いちばんの理由は?

- ① 体温を下げるため
- ② 敵を威嚇するため
- ③ 求愛(仲間を呼ぶ)

ヒント: オスとメスが出会うためです。

答え: ③ 求愛(仲間を呼ぶ) 主に求愛のため。光でメスとオスが呼び合います。

Q24. 俳句の世界で「七夕」や「天の川」は、意外にも何の季語?

- ① 夏
- ② 秋
- ③ 冬

ヒント: 昔のこよみ(旧暦)では7月は…。

答え: ② 秋 秋。旧暦では7月が初秋にあたるため、秋の季語です。

Q25. 農林水産省の分類では、スイカは果物？ 野菜？

- ① 果物
- ② 野菜(果実的野菜)
- ③ 穀物

ヒント:畑で一年のうちに実るものは…。

答え:② 野菜(果実的野菜) 野菜(果実的野菜)。メロンやイチゴも同じ分類です。

Q26. 「打ち水」で涼しく感じるのは、何のはたらき？

- ① 気化熱(蒸発で熱を奪う)
- ② 水が氷のように冷たいから
- ③ 風が強くなるから

ヒント:水が蒸発するとき起きることです。

答え:① 気化熱(蒸発で熱を奪う) 気化熱。水が蒸発する際に周りの熱を奪うため涼しく感じます。

Q27. 天然うなぎの本来の旬はいつ？

- ① 夏
- ② 春
- ③ 秋～冬

ヒント:夏に食べる習慣は販促から、という説も。

答え:③ 秋～冬 天然物の旬は秋～冬。夏に食べる習慣は後から根づいたもの。

Q28. お中元のもとになった中国の「中元」は、もともと何の日？

- ① 先祖を供養する日
- ② 収穫を祝う日
- ③ 結婚の日

ヒント:道教の行事で、ご先祖に関わる日です。

答え:① 先祖を供養する日 中元節は先祖供養の日。日本では贈り物の習慣に変化しました。

Q29. 七夕に笹竹を使うのは、笹が昔から何とされたから？

- ① 早く育つから
- ② 神聖で邪気を払う植物だから
- ③ 安く手に入るから

ヒント:神事にも使われる清らかな植物です。

答え:② 神聖で邪気を払う植物だから 笹・竹は神聖で邪気を払うとされ、古くから神事に用いられました。

Q30. 「七夕」を「たなばた」と読むのは、もとは何をする女性に由来？

- ① 機(はた)を織る女性「棚機つ女」
- ② 田植えをする女性
- ③ 茶をたてる女性

ヒント:布を織って神を迎えた神事の乙女です。

答え:① 機(はた)を織る女性「棚機つ女」 「棚機つ女」が機を織り神を迎えた神事に由来します。